

春の養老観光、呼び水



きこり姿、神社で菊水泉「若水取り」

養老公園一帯の春の観光シーズンの幕開けを告げる日本名水百選の一つ、菊水泉の「若水取り」が21日、養老郡養老町養老公園の養老神社で行われた。養老の滝の水が酒に変わったとされる孝子伝説の主人公「源丞内」にふんした女性2人が水をくみ取った。

雨が降る中、来賓らの玉ぐし奉納に続き、西美濃農業協同組合広幡支店に勤務する中川美沙さん(23)と大垣西濃信用金庫養老支店に勤務する高木美里さん(23)が、腰にひょうたんをぶら下げたきこり姿で登場した。

菊水泉から竹筒に水をくみ、同神社と源丞内の墓がある養老寺の「滝守り不動」にささげた。22日には、奈良市の元正天皇陵に献水される。

若水をくむ儀式は718年、元号を養老に改元した女帝・元正天皇に菊水泉を献上したことが起源。1977年からは、町観光協会(中村一会長)が主催し、毎年、春分の日に行っている。

(藤田聡)

きこりの源丞内(左)にふんし、水をくみ取る中川美沙さん(右)と高木美里さん(養老郡養老町養老公園、養老神社)